

よいことを待つ丑年

2021年、令和3年が始まりました。

今年は始まったばかりですが、新型コロナウイルスの感染者は増えるばかりで、収まる気配がありません。昨日は、東京都に「非常事態宣言」が出されました。

皆さんの学校での生活も、少し厳しくなります。登校するときは、学年によって時間をずらします。そして、1年生は校庭門から登校することになります。休み時間や体育の時間もマスクをするようになります。マスクをしていなかったら、外で遊ばませんので気を付けてください。休み時間が終わったら、必ず手を洗いましょう。音楽が流れますので、音楽を聴いたら、手洗いを思い出してください。給食中は、おしゃべりをしないで食べてください。そして、食べ終わったらマスクを付けるようにしてください。

一人一人の自覚が、1日も早いコロナの収束につながると思います。力を合わせて乗り切りましょう。

さて、今年は干支でいうと丑年です。牛というと、大きい体をしていて、草原でのんびり草を食べているイメージがありますね。牛は昔から酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物です。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、「我慢」とか「耐える」という言葉がよく似合うと言われてきました。そして、農作業の後の収穫につながることから、丑年は「芽が出る」、「これから発展する」などと言われていきます。

今年の夏、東京では「東京オリンピック・パラリンピック」が予定されています。去年できなかった大会ができることを祈っています。まさに、去年我慢したことが、今年「芽が出る」、「花開く」ことになると思います。代々木山谷小学校の皆さんは、8月の下旬、パラリンピックの車いすラグビーを観戦する予定です。

大変な勢いで世界中で猛威を奮っている新型コロナウイルスも、人間にとっては、今は我慢のとき。自由にしたいことを耐えて、人類の知恵を絞って撃退するのを待ちましょう。その先には、きっと芽が出て、発展する世界が広がっていると思います。